

ライト付 超音波スケーラーUDS-Kα 取扱説明書

2025.11月改訂



目次

包装内容	2
2. UDS-Kαの特徴	2
3. 用途	2
4. 安全にお使い頂くために	3
5. 各部の名称	4
6. 設置と接続のしかた	5
7. 操作のしかた	6
8. 洗浄・消毒および滅菌	8
9. 保守・点検	10
10. ハンドピースのLED球 交換方法	11
11. 異常を感じたら	12
12. 製品の仕様	14
13. 保証について	14
14. スペアパーツ	15
15. その他	16



1. 包装内容

- ①ACアダプター×1 ②フットスイッチ×1 ③本体×1 ④各種チップ×5
- ⑥トルクレンチ×1 ⑦交換用LED球×1、ゴムパッキン小×6、ゴムパッキン大×2
- ⑧ウォーターチューブ×1

2. UDS-kαの特徴

- ・UDS-Kαは、設置場所を選ばないコンパクトボディ。
- ・高輝度LED照明付で視界良好。
- ・パワー調節もスムーズに行える大きなダイヤル式。
- ・振動はつねに一定方向にコントロールされ、最適な周波数と安定的な動作を絶えずマイコンにより、コントロールしていますので、エナメル質を傷つけることはありません。
- ・新回路AIビエゾ搭載のため、術者が扱いやすく軽いタッチで効率的なスケーリングが可能。
- ・ハンドピースは簡単に取外しができ、135℃でのオートクレーブ滅菌が可能。

3. 用途

- ・歯石およびプラーク除去。

4. 安全にお使い頂くために

本器を安全にお使いいただくために、以下の事項を必ず守ってください。

●警告表示について	
本書では、安全に関する重要な注意事項を「警告」、「注意」に分類して説明しています。必ず各内容をよくお読みのうえ厳守してください。各警告表示の内容は次のように定義されています。	
警告	この表示を無視して誤った取扱いを行うと、仕様が死亡または重傷を負う可能性がある事を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取扱いを行うと、使用者が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性があることを表しています。

- その他の表示について
警告表示以外については、下記の通りです。
＝参考＝この表示を無視して誤った取扱いを行うと、器機が正常に動作しない可能性があることを表します。

●「設置と接続」について
警 告
●引火性のものを近くに置かないこと。 爆発や火災のおそれがあります。
●電源コードを本体に接続あるいは取外す際は、電源プラグを抜いてから行なうこと。 また、電源コードの本体への接続は奥まで確実に差し込むこと。 感電のおそれがあります。
注 意
交流100V、50/60Hz以外では使用しないこと。火災や感電のおそれがあります。
●「保守・点検」
警 告
●本体の分解・修理や改造は絶対に行わないこと。 異常動作によるけがや感電のおそれがあります。
●「使用上」について
警 告
●濡れた手で電源プラグをコンセントより抜き差ししないこと。感電のおそれがあります。
●水をかけないこと。電源接続部は特に注意すること。感電や火災のおそれがあります。
●心臓ペースメーカー使用者の近くでは使用しないこと。 ペースメーカーに影響するおそれがあります。
●術者はラテックスグローブやマスク、保護眼鏡などを着用すること。 細菌などによる感染および破折片による損傷のおそれがあります。
●患者には保護眼鏡などを着用させること。 細菌などによる感染および破折片による損傷のおそれがあります。
●使用前後は、必ずハンドピースやチップなどの洗浄・消毒および滅菌を行うこと。

5. 各部の名称



- ①電源パイロットランプ ②ハウジング(本体) ③ハンドピースホルダー ④パワー調節ダイヤル
- ⑤ハンドピースホース ⑥水量調整ノブ ⑦給水取付口 ⑧フットスイッチ取付口
- ⑨電源コード差込口 ⑩フットスイッチ ⑪ACアダプター ⑫トルクレンチ
- ⑬ウォーターチューブ ⑭ハンドピースキャップ ⑮LED球付ハンドピース一式
- ⑯ハンドピースコネクター ⑰ライトガイド ⑱LED球 ⑲電源スイッチ

6. 設置と接続のしかた

●設置

- ・開封後、不足な部品やアクセサリがないかを確認下さい。
- ・段ボールから本器を出して安定した平面に置いて下さい。

ー注意ー

- ・近くにパソコンやLANケーブル又、テレビなどがある場合ノイズが発生することがあります。
- ・その場合は機器から少し離しててご使用下さい。



●接続

- ①<フットスイッチの接続>
フットスイッチ⑩のプラグを本体背面のフットスイッチ取付口⑧に差し込んでください。(図1)

②<電源コードの接続>

- ⑪ACアダプターを本体背面の電源コード差込口⑨に差し込んで下さい。(図1)



ー注意ー

- ・ハンドピースホースを引っ掛けるなどしてチップ付のハンドピースが落下し、下肢などに損傷を受けるおそれがありますので、使用しない場合はハンドピースはハンドピースホルダーに確実に挿入して保持させて下さい。

(図2)

7. 操作のしかた

●操作する前に

①給水チューブの接続

- ・本体背面の給水取付口⑦の給水取付用コネクターAを外し給水チューブに通し、吸水チューブを給水取付口⑦にしっかりと奥まで差し込み、吸水取付用コネクターで給水取付口⑦にしっかりと締めつけてください。(図3)

- ・逆側を給水システム又はユニットの給水口に接続します。ユニットに接続する場合は、**ユニットメーカー指定のコネクターをお買い求めください。**



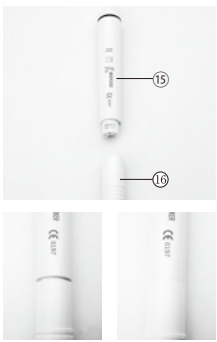
(図3)

②ハンドピースの接続

- ・ハンドピース⑮とハンドピースコネクター⑯を隙間ができないように奥までしっかりと差し込み接続して下さい。(図4)
- ・ご購入時に最初にお使い頂く場合、又は長期間ご使用にならなかった場合は、ハンドピース接続後、チップを取付ける前に一旦、水を出して流水回路に入っている空気を押し出して下さい。

ー注意ー

- ・流水回路に空気が入っていると、チップを取付けた後に水が出ないことがあります。~~~~~濡れていると十分なパワーが得られないことがあります~~~~~
- ・ハンドピースの取付、取外しは必ず電源をOFFになっているかを確認の上、行って下さい。
- ・ハンドピースを接続する際に、ハンドピースとハンドピースコネクタが濡れている場合は、両接続部の水分を十分拭き取って下さい。~~~~~濡れていると十分なパワーが得られないことがあります~~~~~
- ・操作中にハンドピースホース⑤を無理に引っ張ったり、ねじったりしないで下さい。
- ・チップ破折・チップによる人体への損傷を防ぐため、ハンドピースを落下させないよう充分ご注意下さい。



(図4)

③電源スイッチ

- ・本体の背面の電源スイッチ⑲をONにしてください。
- ・本体中央の電源パイロットランプ①が点灯をしているのを確認した後、本体の背面にあります水量調整ノブ⑥を最大限まで回して下さい。(図2)

④フットスイッチの操作

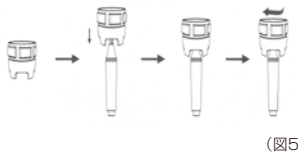
- ・スケーリングチップをとりつける前に、フットスイッチを軽く踏みハンドピースから水が出ることを確認して下さい。その後、トルクレンチにてチップをハンドピースに装着してください。
- ・チップが振動することと、チップ先端より洗浄水が出ることを確認してください。

ー注意ー

- ・チップが取付けされていない状態での長時間振動はハンドピースの故障の原因になりますのでご注意下さい。

⑤チップの取付け

- ・必要なスケーリングチップを選びます。
- ・チップをハンドピースの先端にまっすぐの状態 でネジ込んで下さい。
- ・ハンドピースを握って、トルクレンチ⑫を時計回りに回して下さい。
- ・トルクレンチが空回りをするようになれば締め付けは正しく充分に行われます。(図5)



(図5)

ー注意ー

- ・トルクレンチの構造はチップの取り付けを正確に行い、一定の力で締め付けができるように設計されています。
- ・チップがまっすぐに差し込まれていない状態で締め付けますとチップやハンドピースのネジ山破損の恐れがありますのでご注意下さい。

⑥水量の調整

- ・フットスイッチを踏みとまずチップが振動します。このとき、水量は最大になっていますので安定したきれいな霧状になるまで水量を水量調整ノブで徐々に絞ってください。

ー注意ー

- ・洗浄水なしで使用しますとチップの発熱で歯牙を痛めたり、チップ先端がすぐに発熱しますのでご注意下さい。
- ・チップ先端が十分に冷却できる水量でご使用ください。
- ・過剰なバキュームの使用は、チップに水がかからず十分に冷却できない場合がありますので避けて下さい。

⑦振動の調節

- ・歯石の付着状態に応じて④パワー調節ダイヤルで調整して下さい。
- ・通常は中間位置の“5”でのご使用をお勧めします。

⑧スケーリング

- ・軽いタッチと一定の前後運動により発熱をすることなく、軽い力で歯石を除去します。
- ー注意ー
- ・長時間の連続使用はお控え下さい。
- ・治療中にチップの先が歯面に垂直触れないようにして下さい。
- ・チップを歯に強く押さえつけるとエナメル質やチップに損傷を与えますのでご注意下さい。
- ・機器が動作中はハンドピースを外さないで下さい。
- ・撤去する必要のない補綴物にチップが触れないようにして下さい。
- ・スケーリングチップを直接歯肉や皮膚、粘膜に触れないようにして下さい。
- ・火傷やケガの恐れがありますのでご注意下さい。
- ・振動パワーは患者の知覚状態や歯石の付着具合などにより適宜調整して下さい。
- ・歯牙などを痛めるおそれがありますので用途に合った適切な振動パワーを選択して下さい。

8. 洗浄、消毒および滅菌

●治療が終わったら

1)ハンドピースとチップ

1. ハンドピースにチップを装着したまま、チップを流水ですすいで下さい。
2. チップを消毒用エタノールを噴霧もしくは、湿式洗拭して下さい。
3. チップを消毒した後に流水下でチップ先端部をナイロンブラシなどを用いて洗浄して下さい。
4. ハンドピースからチップを取り外す時は、ハンドピースを握ってトルクレンチを左に回して取り外して下さい。
5. チップを取り外したあと、チップ内部のネジ部の汚染物も洗浄して下さい。
6. 滅菌処理前に消毒されたチップを流水ですすいで下さい。
7. ハンドピース、チップトルクレンチはいずれも135℃のオートクレーブ滅菌が可能です。洗浄後、別売の滅菌BOXまたは、滅菌バックに入れて滅菌して下さい。

- ー注意ー
- ・ チップを装着したまま、ハンドピースをハンドピースホースから外す場合はチップでケガをしないように注意して下さい。
 - ・ トルクレンチやハンドピースは(黄変・ひびわれなど)樹脂表面が侵される恐れがありますので薬液に浸さないで下さい。

2)ウォーターチューブ
ウォーターチューブと部品を清潔に保つために、治療が終わることに、水量調整ノブを最大限にして30秒間流路を洗浄作動させて下さい。

- 滅菌
- ハンドピースとスケーリングチップの滅菌
- ・ 使用後は、感染防止のために必ず135℃・2気圧以下で必ずオートクレーブ滅菌して下さい。

- ー注意ー
- ハンドピースはケミクレーブや乾熱滅菌器では絶対に滅菌しないで下さい。
- ・ 付属品は別売滅菌ボックス又は滅菌バッグに入れて、オートクレーブ滅菌して下さい。
 - ・ チップのみの場合はケミクレーブ、薬液消毒、オートクレーブ滅菌が可能です。
ただし、薬液処理後は充分に水洗いし、乾燥させて下さい。
本体とケーブルの連結部分は水が付いたり、水がかからないようご注意ください。

	(洗浄水ナフリン)	エタノール噴霧	消毒用 消毒液への浸漬	オートクレーブ 滅菌	ケミクレーブ滅菌	乾燥滅菌	EOG滅菌	備考
本体	×	×	×	×	×	×	×	アルコール成分を含む ないイソオクトルステア リック(ISO5A)セソフオ ープ(既述)で確認して 下さい
HPホースライン	○	×	×	×	×	×	×	30秒以上
ハンドピース	×	×	×	○	×	×	×	
スケーリングチップ	○	○	○	○	○	○	×	
トルクレンチ	○	×	×	○	×	×	×	
備 考		洗浄水にすぐ	消毒後、 洗浄水にすぐ	消毒後、 洗浄水にすぐ	135℃以下			

9. 保守・点検

- 本体の清掃について
- ・ 清掃は中性洗剤を用い柔らかな布で拭いて下さい。
 - ・ 研磨材を含む中性洗剤を使用しますと破損やキスの原因になりますのでお止め下さい。
<研磨材を含まない物、弊社商品のバイオオイルメディック花王セーフキープを推奨します>
 - ・ アルコールなどの溶剤は使用しないで下さい。

- ー注意ー
- ・ 本体は水洗いに対応していません。また滅菌処理も出来ません。
 - ・ 本体をクレンザーやスチールワール入スポンジで磨かないで下さい。
表面が損傷します。
 - ・ アルコールを含んだ液体などで本体、ハンドピースの樹脂部分を拭かないで下さい。

- ハンドピースについて
- ・ 水量調整ノブを最大流量にして30秒以上洗い流しながら、ハンドピース先端のネジ部も洗浄してください。また、使用されたチップも水で洗浄してください。放置するとサビ発生の原因になります。

- チップの摩耗について
- ・ チップは使用することにより摩耗を生じ短くなります。作業部分は最先端部で、摩耗したチップを用いると性能が発揮できません。このような時は、速やかにチップを交換してください。

- 保管について
- ・ 本器を長期間使用しない時は、すべての洗浄液ライン内の洗浄液を排出し、ホコリなどが付着しないよう保管して下さい。

12. 製品の仕様

- | | |
|----------|---------------------------------|
| 1. 製 品 名 | 超音波スケーラーUDS-Kα |
| 2. 仕 様 | |
| 電 源 | AC 100V 50Hz/60Hz |
| 出力範囲 | 3W～20W |
| 発振周波数範囲 | 25～31kHz |
| 上水道圧 | 0.01～0.5MPa |
| 本体重量 | 750g |
| 本体寸法 | W170×D111×H65mm
(ツマミ、ホルダー含む) |
| 3. 作業環境 | |
| | 環境温度: 5℃～40℃ |
| | 相対湿度: 80% |
| | 気 圧: 70～106KPa |
| 4. 適合規格 | |
| | EN60601-1 1996年 |
| | EN60602-2 2001年 |
| | ISO22374 2005年 |

13. 保証について

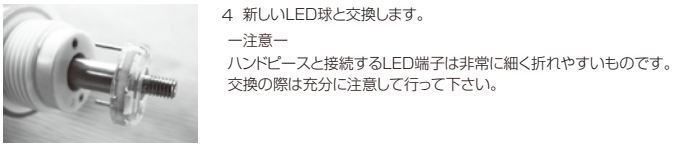
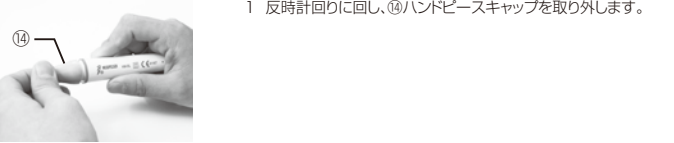
取扱説明書通りの正常なご使用のもと製品の不具合が生じた場合、保証書による1年間の機器無償修理をいたします。
※消耗品は保証対象外になります。(チップ、Oリング等)

- 1 誤用、乱用および落下等、取扱い不注意による故障・損傷。
- 2 不当な修理または改造による故障・損傷。
- 3 火災、地震、水害、その他の天災地変および落雷などによる異常電圧による故障、損傷。
- 4 消耗品および付属品の取り替えの場合。
- 5 保証書の提示がない場合および保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を変えられた場合。

お願い
修理依頼時は本体・付属品は取扱説明書に従い洗浄、消毒および滅菌を行ってから修理依頼をお願いします。

10. ハンドピースのLED球 交換方法

- LED球の交換の際には以下の手順で行って下さい。
- 光量が不足してきたらLED球を新しいものと交換して下さい。目安としてオートクレーブ 500回/毎 又は 年に1回程度をお勧めいたします。
(ご使用時間、頻度により異なります。)



- ー注意ー
ハンドピースと接続するLED端子は非常に細く折れやすいものです。交換の際は充分に注意して行って下さい。

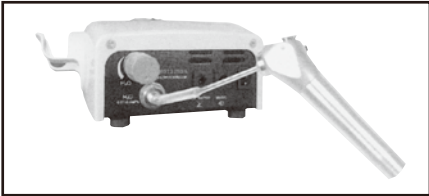
異常内容	異常の理由	処 置
ハンドピースから水が出ない。スケーラーチップも振動しない。	電源ランプは点灯していますか?	コンセントに電源供給されているか、電源スイッチがONになっているかを確認して下さい。
	フットスイッチのソケットが抜けていませんか?	フットスイッチのソケットを確実に差し込んで下さい。
	ハンドピースとハンドピースコネクターがしっかりと奥まで接続されていますか?	ハンドピースとハンドピースコネクターを確実に隙間なく接続して下さい。
	改善しない場合は本体とハンドピースを修理依頼して下さい。	
スケーラーチップは振動するが水が出ない。	水量調整ノブが正常に開放されていますか?	最大限までにノブを回し適切な水量に調整して下さい。
	ハンドピースとハンドピースコネクターがしっかりと奥まで接続されていますか?	ハンドピースとハンドピースコネクターを確実に隙間なく接続して下さい。
	流水路に水アカなど異物が混入していませんか?	ハンドピースを外し、外部給水口からエアーを吹き込んで流水路の異物を除去して下さい。(図7)
	改善しない場合は本体とハンドピースを修理依頼して下さい。	
水は出るがスケーラーチップが振動しない。	チップが正常に装着してありますか?	チップを外し、もう一度垂直に挿し込みトルクレンチで締め直して下さい。
	ハンドピースとハンドピースコネクターがしっかりと奥まで接続されていますか?	ハンドピースとハンドピースコネクターを確実に隙間なく接続して下さい。
	改善しない場合は本体とハンドピースを修理依頼して下さい。	
スケーラーチップの振動異常が感じられる。	ハンドピースとハンドピースコネクターがしっかりと奥まで接続されていますか?	ハンドピースとハンドピースコネクターを確実に隙間なく接続して下さい。
	チップが正常に装着してありますか?	チップを外し、もう一度垂直に挿し込みトルクレンチで締め直して下さい。
	チップの摩耗や折れ曲り、変形異常はありませんか?	変形や摩耗がありましたら、チップの交換をして下さい。
	ハンドピースのチップ装着口の先端ネジ部の摩耗や変形はありませんか?	摩耗や変形があればハンドピースの修理依頼をして下さい。又は、交換用ハンドピースをお求め下さい。
	改善しない場合は本体とハンドピースを修理依頼して下さい。	
ハンドピースとハンドピースホースの間から水漏れ。	ハンドピースについている黒いOリングの破損や変形はありませんか?	変形や破損がありましたら黒いOリングを交換して下さい。(別売)
	改善しない場合は本体とハンドピースを修理依頼して下さい。	

上記以外での故障や異常が感じられた場合はすぐに使用をやめ、修理を依頼して下さい。
ただし、保証期間内でも次の場合は有償修理となります。

1. 誤用、乱用および取扱い不注意による故障・損傷。
2. 不当な修理または改造による故障・損傷。
3. 火災、地震、水害、その他の天災地変および異常電圧による故障、損傷。
4. 消耗品及び付属品の取り換えの場合。
5. 保証書の提示がない場合。および保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入の無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

尚、修理依頼時は本体・付属品は取扱説明書に従って洗浄、消毒および滅菌を行なって修理依頼をお願いします。

水道管内の水サビ・水アカが永年のご使用で本体配管内につまることがあります。
その場合は以下の手順で不純物を取り出すことが出来ます。



(図7)

- ①チップとハンドピースを取り外して下さい。
- ②水入口から10～15センチ離れたところを残し、ウォーターチューブをハサミなどで切って下さい。
- ③電源スイッチをONにします。
- ④ウォーターチューブにエアーシリンジ先端をつなぎます。
- ⑤フットスイッチを踏んで下さい。
- ⑥その状態でエアーシリンジから圧縮エアーを出し、本体水回路につまっている不純物を押し出して下さい。

14. スペアパーツ



LED球付ハンドピース 1式



LED球 1ヶ



フットスイッチ 1ヶ



トルクレンチ 1ヶ



チップホルダー 1ヶ



PIEZOチップ各種